

株式会社 朝日学生新聞社  
株式会社 童話屋

**谷川俊太郎さんと小中学生が「いじめ」の詩でコラボ 連載スタート**

詩人の谷川俊太郎さんが「いじめ」を題材に詩を書き、小・中学生からもいじめの詩を募っていっしょに発表していく連載が、小・中学生向け新聞でスタートしました。掲載作品は、お小遣いで買える値段の詩集として童話屋から今月下旬以降、順次刊行予定です。

**いじめの詩**  
谷川俊太郎さんと小中学生の詩集

おとなしい巨人  
ぼくはおとなしい巨人になりたい  
あいつが来たら突っ立って  
あいつの影にたまたま立って  
黙って山を眺めて

カラダはチビで弱くても  
ココロは大きく強くなれる  
ココロの巨人の相手は自分  
自分に負けない巨人になりたい

大っきらいのいじめ  
小6・女子 おまじないまじまじ

大っきらい  
大っきらい  
何がきらい  
いじめがきらい  
なんでもきらい  
いじめられた人は当せんけど  
いじめた人も後から苦しくなる  
いじめは色んな人を苦しめる  
止めればいい  
そうかんたんに止められない  
なぜかって  
見ている人は止める  
自分がいじめられる  
そう思っ止められない

大っきらい  
大っきらい  
いじめなんて 大っきらい

あなたも「いじめ」について詩を書きませんか。ペンネーム、学年、性別を書いて送ってください。紙面に掲載された詩は、童話屋から出版予定の本に掲載される場合もあります。  
【あて先】〒104-8433 朝日小学生新聞「いじめの詩」係 メール asasho@asazaku.co.jp ファクス 03-2645-0727  
【おねがい】必ず自分で作った詩を送ってください。ほかの人の詩をまねると、作った人の「著作権」をおかすこととなります。

たにかわ・しゅんたろう 詩人。1931年、東京都生まれ。詩集『二十歳の孤独の孤島』でデビュー。小学校の国語の教科書に、詩「どきん」「生きる」、翻訳を手がけた「スイミー」などが載っている。

朝日学生新聞社 発行

朝日小学生新聞 7月8日付紙面から連載第1回 [www.asazaku.com/osirase/press/img/20140708.pdf](http://www.asazaku.com/osirase/press/img/20140708.pdf)

—谷川さんから—

難しい

いじめを題材に詩を書くのはすごく難しい。小学生のときいじめられたことがあるが、その子とは後で友だちになったから、いじめられて悩んだという経験はあまりない。ではいじめるほうはどうかと言うと、自分では誰もいじめたことはないと思っているけど、いじめたことに気がつかなかったということはあるかもしれない。いじめという暴力の種はどんな人間の中にもひそんでいる。そう考えて書いてみるけど、途中で書けなくなったら無理せずやめます。

谷川俊太郎



■発表形態■

- 【新聞連載】 朝日小学生新聞（日刊 8 ページ、全国） …7月 8 日付から週 1 回  
「いじめの詩 谷川俊太郎と子どもたち」（毎週火曜日連載）  
朝日中学生ウイークリー（週刊 20 ページ、全国） …7月 6 日号から  
「いじめの詩 谷川俊太郎と中学生」（毎週連載）  
\*ともに朝日学生新聞社発行。海外電子版を含む

- 【出版】 『いじめっこ いじめられっこ ー谷川俊太郎と子どもたち』  
（童話屋、本体 300 円+税） 7 月 23 日刊行予定

- ◇谷川俊太郎（たにかわ・しゅんたろう） 詩人。1931 年、東京都生まれ。『二十億光年の孤独』（集英社）でデビュー。数多くの詩集、児童書の翻訳作品を発表。小学校の国語教科書には、詩「どきん」「生きる」、翻訳を手がけた「スイミー」などがのっている。
- ◇童話屋 『のはらうた』『葉っぱのフレディ』などで知られる出版社。
- ◇朝日学生新聞社 「朝日小学生新聞」「朝日中学生ウイークリー」を発行する新聞社。

【取材等のお問い合わせ先】 朝日学生新聞社 広報・教育メセナ部  
〒104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 TEL.03-3545-5223 FAX.03-3545-0978  
メール：press@asagaku.com URL：www.asagaku.co.jp